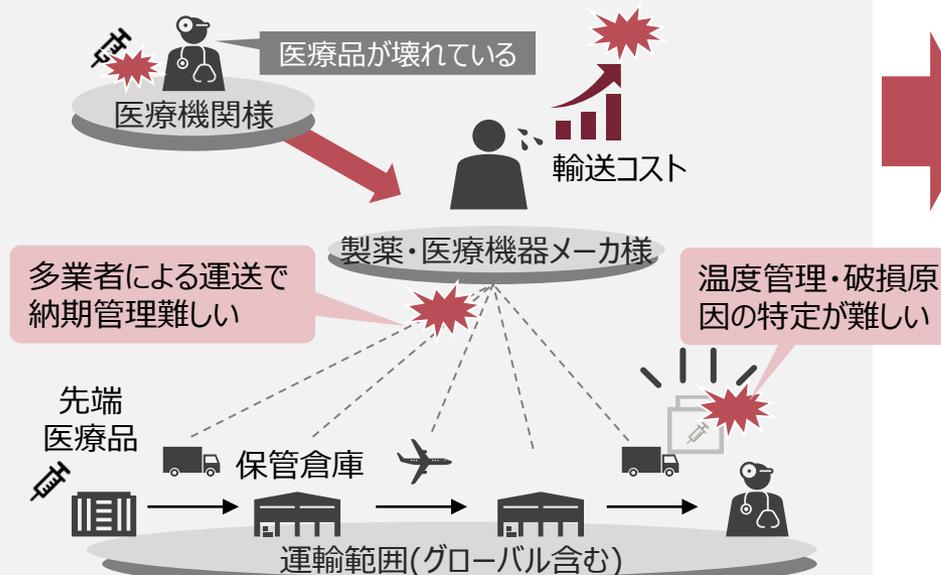


先端医療品の運輸環境“見える”化(位置・温度・振動等)により お客さまの運輸サービスにおけるトレーサビリティ向上をサポート

As-Is (導入前)

運輸環境が不透明で納期・品質管理にバラつき

- 多数のトラック事業者による運送で納期管理が難しい
- 高温地、寒冷地での温度管理が難しい
- 製品破損の原因が不明(コスト増加)



To-Be (導入後)

運輸環境“見える”化によりサービス価値向上

- 運送中に通信回線デバイスを利用することで位置情報、運輸環境をリアルタイム監視
- エンドユーザ様に対し、高品質に運送した製品を適切な納期でお届けできる仕組みづくりをサポート

